

1. 発表者 東岸 正子（和歌山県立みはま支援学校 PTA 役員）

2. 学校名 和歌山県立みはま支援学校

3. テーマ PTA 活動の取組

4. 学校概要

本校は、独立行政法人国立病院機構和歌山病院に隣接する昭和54年に設立された和歌山県唯一の病弱教育を行う特別支援学校で、重症心身障害児者病棟に入院している児童生徒と、自宅から通学している病弱児生が在籍している。病類は、脳性まひ、難病疾患、精神疾患など多岐にわたり、病状（障害）等も多様である。そのため、児童生徒一人一人の実態を的確にとらえ、個に即した教育を行い、すべての児童生徒の成長・発達を期すよう努力している。

5. 発表概要

(1) PTA 組織の紹介

全保護者がPTAの会員になっており、三役（会長、副会長3名、会計1名）と若干名の評議員（今年度は7名）や各分掌（研修・ボランティア・環境整備・文化活動）となっている。年3回の役員会と、年1回の総会がある。また、県内特別支援学校等との連携も行っている。

(2) 各種事業の取組

①地域の文化祭に参加

「日高地方障害児者のつながりを広める文化祭」で模擬店を出店。

②保護者学級

卒業後の進路や人権教育等について、年3回計画実施。

③親子で楽しもう会

音楽鑑賞会、食育教室、ヨガ教室等。

④美化活動

除草作業等をおこない教育環境を整美。

6. 今後の課題と検討事項

- ・各種事業への参加率が低いことと参加者が限定されていること。
- ・各種事業の企画・準備・運営を保護者主体でおこなえるようにすること。

